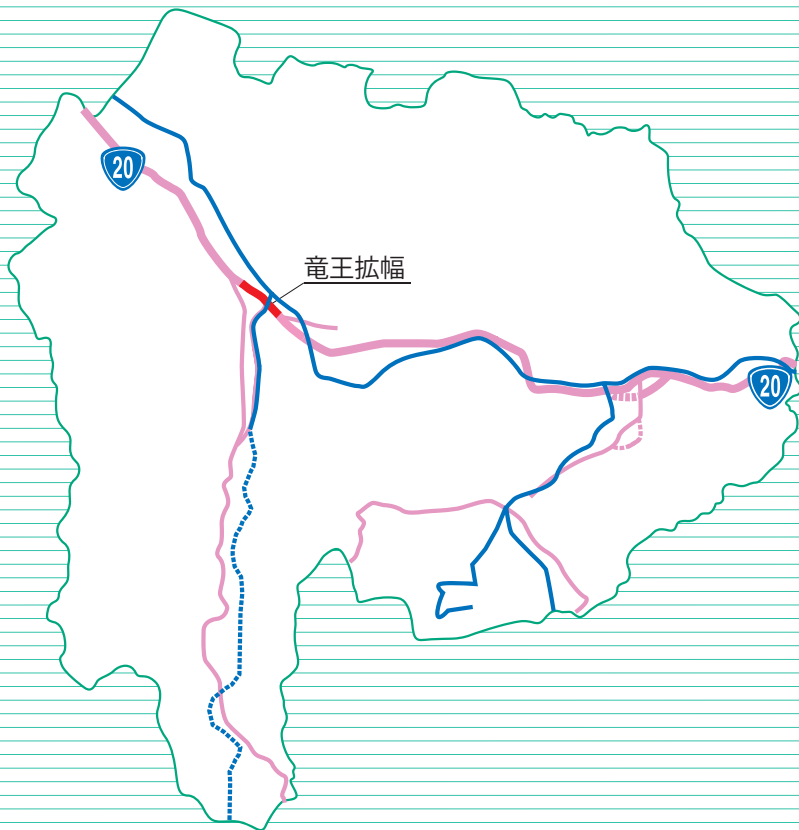




竜王拡幅

山梨を東西に貫く大動脈をさらに快適・安全に



国土交通省 甲府河川国道事務所

国道20号・竜王双葉地区の現状

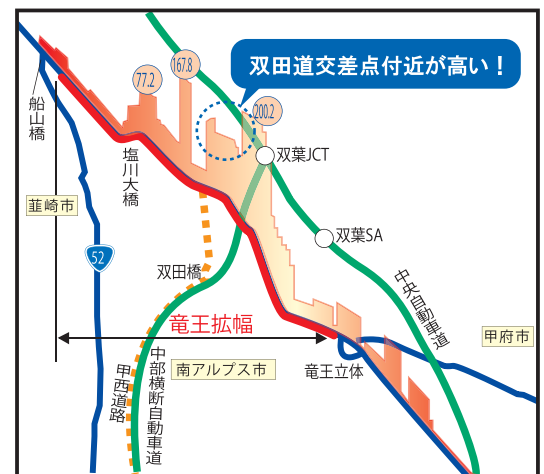
甲府市周辺の工業施設の立地やベッドタウン化などの影響で、特に甲斐市から韮崎市を結ぶ区間では、朝夕の通勤時には慢性的な交通渋滞が発生しています。また、歩道の整備されていない箇所では、自動車や歩行者の通行に支障をきたしています。

竜王地区は渋滞しています。

竜王拡幅区間の上り方向では、夕方のピーク時に双田道付近で高く、下り方向では竜王立体付近で車線が減少するため渋滞損失時間が高くなっています。



竜王拡幅区間上り方向:夕方ピーク時



単位:千人時間/年km 出典:H16プローブ調査結果



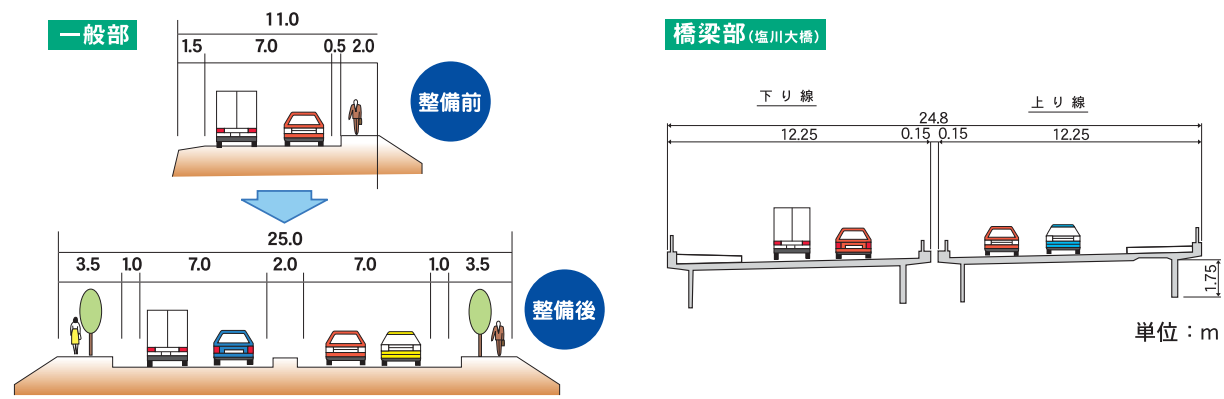
▲双田道交差点(上り)

竜王拡幅とは？

竜王拡幅の概要

竜王拡幅は、交通渋滞緩和と歩道の設置などによる交通安全性の確保を目的とした甲斐市竜王から韮崎市栄一丁目までの延長6.7kmの拡幅事業です。

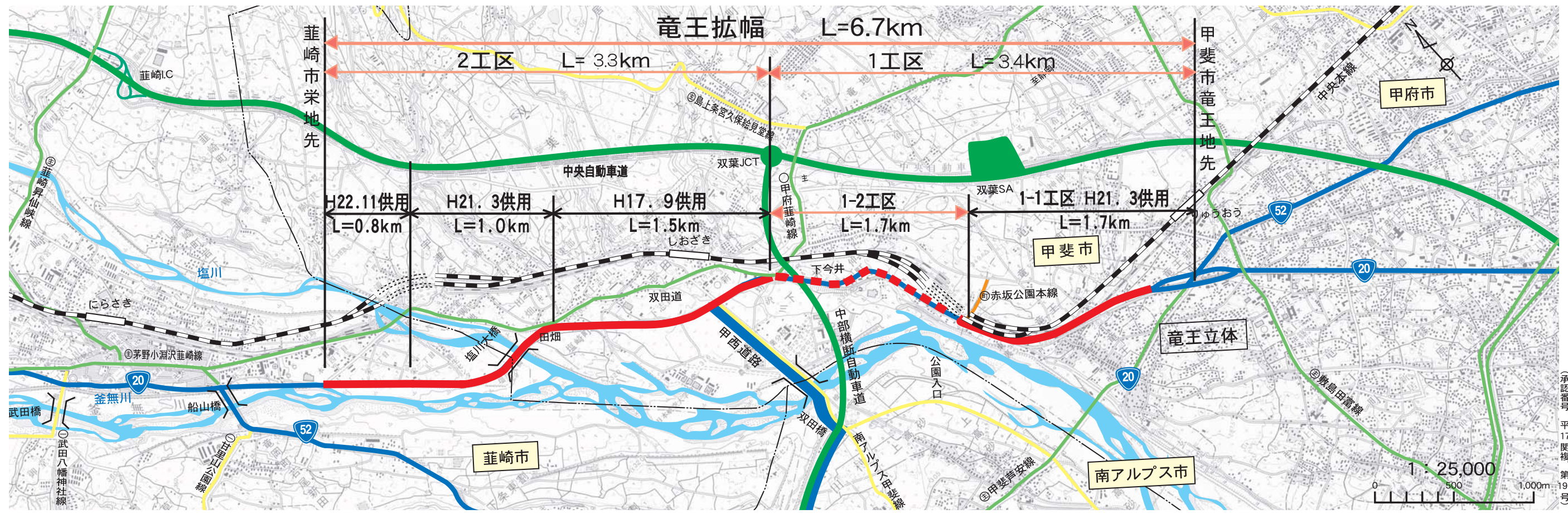
計画断面図



諸元

路線名	一般国道20号
区間	自) 甲斐市竜王 至) 韮崎市栄一丁目
計画延長	6.7km
幅員	25.0m
構造規格	第3種第1級
設計速度	60km/h
車線数	4車線

計画平面図

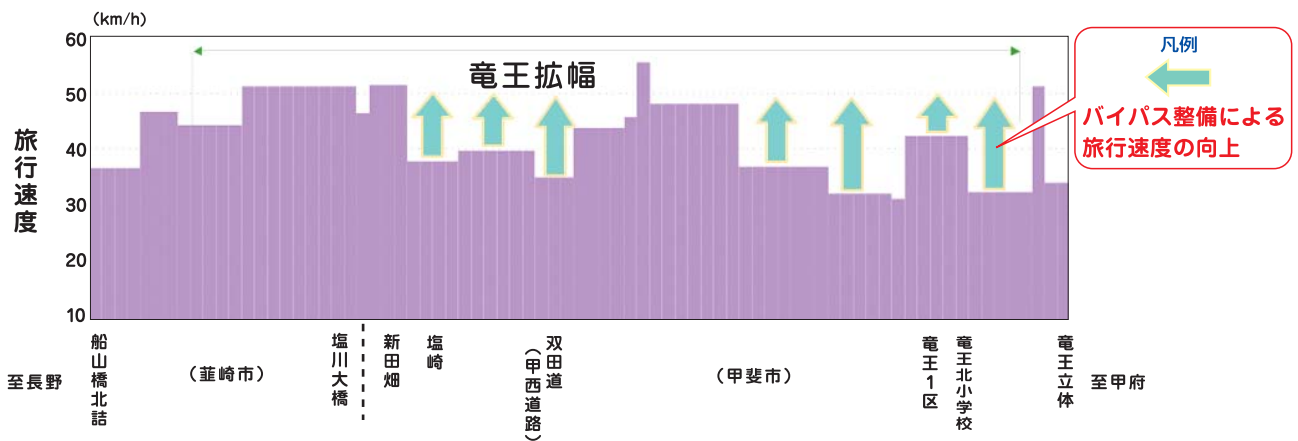
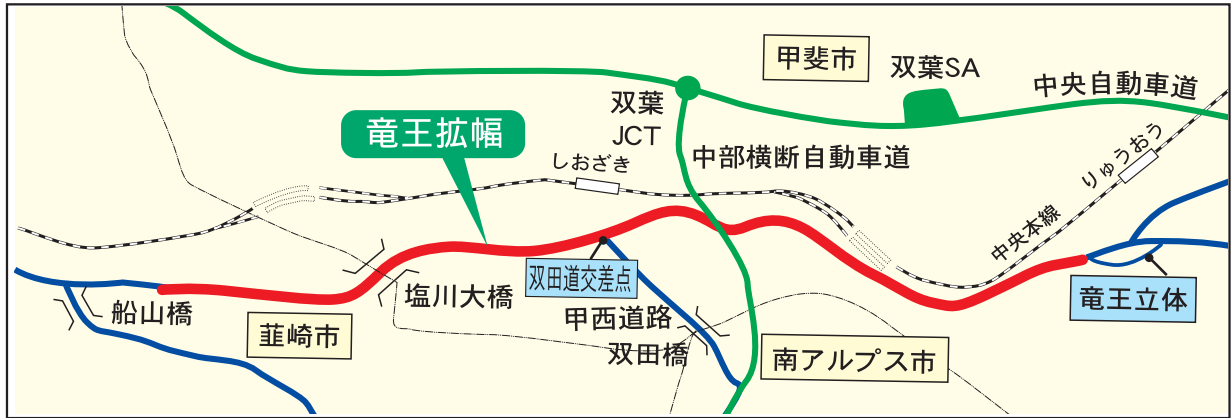


この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1の地形図を複製したものである。
(承認番号 平17関復第198号)

竜王拡幅の整備効果

1. 旅行速度が向上します

拡幅工事により、渋滞が緩和され車が通行する速度が上がります。



2. 沿道環境が改善されます

国道20号などの渋滞が緩和されることで、車の排気ガスが減り、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出量が減少します。



二酸化炭素(CO₂)・・・年間4,950t - CO₂削減

(森林約470haの二酸化炭素吸収量に相当)
(本栖湖の面積に相当)



窒素酸化物(NO_x)・・・年間2.4t削減

(大型車が東京～大阪間を約490往復した時の排出量に相当)
※東京IC～西宮ICを片道540kmとして換算
※大型車の速度を80km/hとして換算



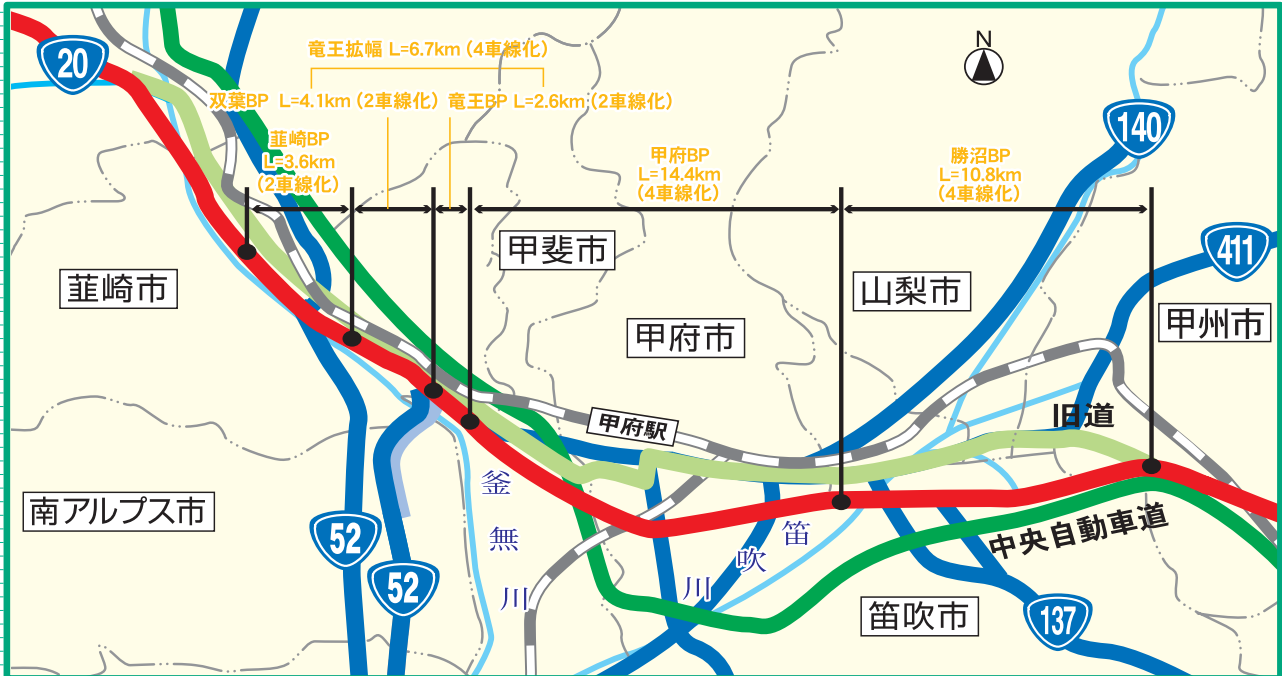
浮遊粒子状物質(SPM)・・・年間0.22t削減

(500mlペットボトル約2,200本分に相当)
※ペットボトル1本(500ml)に入るSPMを約100gとして計算

いつの時代も山梨の発展のために成長を続けてきた国道20号のあゆみ

古くは甲州街道とよばれ、山梨県を東西に横断し、県内における最も重要な幹線道路として、政治・経済・文化の発展に大きく貢献してきた国道20号。当事務所の管理区間は、上野原市より北杜市白州町(長野県境)までの100.3kmで、直轄事業としては昭和33年に着手しました。

そして、昭和40年一次改築の完了に伴い、交通混雑解消のための二次改築の道路整備を進めています。二次改築はバイパス形式で進められ、すでに勝沼バイパス、甲府バイパスの4車線化が図られ、竜王バイパス(2車線)、双葉バイパス(2車線)を竜王拡幅事業として、順次4車線化を進めています。



●写真でふりかえる国道20号



双葉バイパス
昭和51年工事着手、昭和55年4月に暫定供用



甲府バイパス
昭和46年に暫定2車線供用、昭和49年に全線4車線供用



勝沼バイパス
昭和52年に暫定2車線供用、昭和54年に全線4車線供用

●一般国道20号の改築事業の歩み

- | | |
|--------------------------|-----------------------------------|
| 昭和38年度 竜王バイパス供用 | 昭和55年度 双葉バイパス I 期暫定2車線供用 |
| 昭和41年度 菅吹バイパス着工 | 昭和55年度 双葉バイパス II 期工事着手 |
| 昭和43年度 菅吹バイパス供用・甲府バイパス着工 | 昭和59年度 双葉バイパス II 期暫定2車線供用 |
| 昭和46年度 勝沼バイパス着工 | 平成12年度 竜王拡幅交差点改良・歩道設置工事完成 |
| 昭和49年度 甲府バイパス4車線供用 | 平成13年度 甲府バイパス総延長14.1kmの低騒音舗装工事を完了 |
| 昭和51年度 双葉バイパス I 期工事着手 | 平成20年度 竜王拡幅 L=2.7km 4車線供用 |
| 昭和54年度 勝沼バイパス4車線供用 | 平成22年度 竜王拡幅 L=0.8km 4車線供用 |



国土交通省 甲府河川国道事務所

〒400-8578 山梨県甲府市緑が丘1丁目10-1
TEL:055-252-8886 FAX:055-251-2594
<http://www.ktr.mlit.go.jp/koufu/>

